

5 參考資料

5 参考資料

(1)集計表 ―市民―

			未就 学児 保護者	小・中 学生 保護者	関係 団体 (教育)	関係 団体 (福祉)	地域 (3駅 圏)	吉祥寺 東コ ミュ ニ ティ 協 議 会	武蔵野 の教育 を語る 会
回答者数			43	31	71	69	28	17	18

Q1 次のうち、これからの学校にとって重要だと思うものを5つお答えください。

①	1	発展的な学習による学力の向上	21	6	10	17	2	4	0
	2	基礎的・基本的な学習内容を身に付け、学習の遅れやつまづきをなくすこと	17	13	36	32	16	8	3
	3	学習への興味・関心の育成	16	12	25	32	16	11	5
②	4	他者への思いやりなどを育むこと	24	7	30	29	12	5	7
	5	他者との協働のための社会性の育成	20	6	34	29	10	9	3
	6	主体性の育成	19	15	19	24	11	9	3
③	7	健康な生活習慣の確立	8	3	13	13	3	3	3
	8	技術的、体力的な運動能力の向上	5	2	7	6	2	0	0
	9	運動習慣の確立	2	1	7	7	2	1	1
④	10	9年間を通した、放課後の子どもの居場所づくり	4	5	13	14	1	0	3
	11	一人一人の特性に応じた、子どもの自立をめざす特別支援教育	16	4	17	24	6	7	6
	12	様々な課題や背景のある子供や家庭に対する、専門スタッフによる支援・相談が可能な体制	14	4	24	18	5	6	2
	13	学校で子どもが相談をしやすい体制	14	4	9	14	5	1	6
⑤	14	保護者や地域の方々にとって持続可能な学校と地域の協働体制	5	4	21	15	4	6	4
	15	学校と地域が連携した子どもの支援	6	5	22	15	6	4	4
⑥	16	教育現場を支援する人材の充実	14	4	20	15	6	4	7
	17	子どもがのびのびと過ごせる校舎や校庭などの整備	9	9	18	21	12	4	2
	18	今後の地域の課題に対応するための、学校施設の有効活用	4	1	11	11	0	3	1

Q2 基礎・基本の定着や、自ら学び、考える力の育成を大切にし、一生涯の学びを支える学ぶ意欲を育むために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。								
1	系統性と連続性を生かした、義務教育9年間を見据えた指導	4	2	12	12	4	3	0
2	学習の習熟度に応じた、少人数・習熟度別によるきめ細かい指導	20	10	34	30	12	9	7
3	小学校高学年における一部教科担任制など、小・中学校教員の専門性を生かした指導	11	7	15	12	2	4	0
4	小・中学校の教員の連携による相互乗り入れ授業	3	0	3	7	0	0	0
5	その他	4	2	4	2	8	1	3
Q3 他者への思いやりや、社会の一員として意志をもって行動する力を育むために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください								
1	①体験活動（セカンドスクールや職場体験等）	21	10	29	34	9	4	3
2	②学校における異年齢交流	7	2	16	8	1	0	1
3	③地域の大人との交流	3	3	10	3	7	4	5
4	④小・中学校が連携した、生き方を学ぶ取組（キャリア教育）	8	6	11	20	2	5	0
5	⑤その他	4	0	2	2	5	3	1
Q4 生涯にわたる健康の保持増進や、運動能力を身に付け、運動習慣を確立するために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください								
1	①小学校への体育専門の指導員の配置	18	2	23	22	5	3	1
2	②小・中学校が連携した体育の授業の実施	3	0	4	11	2	1	0
3	③外部指導員の部活動への参加	13	12	26	20	4	11	7
4	④地域スポーツクラブなどとの連携（部活動の組織的支援やスポーツイベント開催等）	5	7	11	13	8	2	1
5	⑤その他	3	1	3	2	5	0	2
Q5 子どもや家庭、地域や教員を支援するために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください								
1	①スクールソーシャルワーカーなど、教育現場を支援する人材の充実	20	6	16	17	8	3	4
2	②多様な課題を抱える子どもを支えるための、学校と地域が連携した居場所づくり	11	5	24	20	3	2	2
3	③学校と地域のつながりを支援するための地域担当職員の配置	5	6	10	6	1	6	2
4	④既存の地域組織（PTAや青少協、開かれた学校づくり協議会等）の小学校区に合わせた仕組みづくり	5	4	14	21	4	4	1
5	⑤その他	4	0	4	2	5	2	1

5 参考資料

(1)集計表 一 小・中学校教員等一

		小学校	中学校
回答者数		264人	104人
Q1 「小中一貫教育」を実施し、「義務教育9年間を見据えた学習指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）			
ア	児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力、判断力、表現力の育成	50	9
イ	児童・生徒の学ぶ意欲の育成	17	3
ウ	児童・生徒の学習習慣の確立	54	15
エ	義務教育9年間を通した学習規律の設定や、学習スキル等の指導の充実	114	26
オ	義務教育9年間を通した学習上の個別のつまずきへの配慮	101	30
カ	その他	39	40
Q2 「小中一貫教育」を実施し、「義務教育9年間を見据えた学習指導」を推進する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）			
ア	9年間を通した指導計画の作成や学習規律の設定が難しいのではないか	145	63
イ	9年間を通した指導を行うための研修などが増えるのではないかな	123	66
ウ	教員一人あたりの授業の持ち時数が増えるのではないかな	60	66
エ	教員の異動などにより、指導計画の趣旨が形骸化するのではないかな	100	62
オ	不安や課題はあまりない	10	0
カ	その他	59	36
Q3 「小中一貫教育」を実施し、「小学校高学年での一部教科担任制」を実施すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）（小学校教員のみ回答）			
ア	児童の基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力、判断力、表現力の育成	92	-
イ	児童の学ぶ意欲の育成	35	-
ウ	中学校段階での完全教科担任制へのスムーズな移行	129	-
エ	授業の反省点を次の授業に生かすなど、指導方法の工夫改善	94	-
オ	複数教員による多面的な児童理解や、教員同士が連携した生活指導	98	-
カ	その他	22	-

Q4 特にどの教科で実施すると、効果があると思いますか？（複数回答可）（小学校教員のみ回答）			
ア	国語	45	-
イ	社会	52	-
ウ	理科	127	-
エ	家庭	88	-
オ	体育	120	-
カ	英語	182	-
Q5 「小中一貫教育」で「小学校高学年での一部教科担任制」を実施する場合の、不安や課題は何ですか？（複数回答可）（小学校教員のみ回答）			
ア	全ての教員が、自分の専門性を生かすのは難しいのではないか	137	-
イ	固定時間割の編成が難しいのではないか	157	-
ウ	児童の総合的な学習状況の把握や、信頼関係づくりが難しいのではないか	91	-
エ	複数教科の内容を組み合わせ合わせた合科的な指導ができなくなるのではないか	88	-
オ	欠席児童の連絡や、宿題の総量調整等、教科担任同士の連携が難しいのではないか	124	-
カ	不安や課題はあまりない	10	-
キ	その他	18	-
Q6 「小中一貫教育」を実施し、「小・中学校での相互乗入授業」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）			
ア	児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力、判断力、表現力の育成	33	8
イ	児童・生徒の学ぶ意欲の育成	37	5
ウ	中学校進学に関する児童の不安緩和	128	30
エ	義務教育9年間を通じた児童・生徒の成長に関する小・中学校教員の理解	118	39
オ	オ その他	21	30
Q7 「小中一貫教育」で「小・中学校での相互乗入授業」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）			
ア	相互乗入授業を行うための打ち合わせの時間がとれないのではないか	201	81
イ	教員一人あたりの授業の持ち時数が増えるのではないか	89	73
ウ	小学校段階と中学校段階の授業開始時刻の調整が難しいのではないか	125	70
エ	異なる学校段階の授業や授業支援は、教員の持ち味を生かせないのではないか	73	46
オ	所有する免許状の多い教員のみに負担が偏るのではないか	114	50
カ	不安や課題はあまりない	2	0
キ	その他	20	22

Q8 「小中一貫教育」を実施し、「児童・生徒の異年齢交流」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）			
ア	児童・生徒の自分で考え、責任もって行動する力を育むこと	80	13
イ	児童・生徒の自己理解や、自分のよさ、可能性に気付くこと	51	5
ウ	児童・生徒の他者と協力していこうとする態度を育むこと	109	25
エ	児童・生徒の他者への思いやりの心を育むこと	116	37
オ	その他	25	36
Q9 「小中一貫教育」で同じ学校内で「児童・生徒の異年齢交流」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）			
ア	交流内容の吟味など打ち合わせの時間がとれないのではないか	150	71
イ	実施する授業時数の確保や、時間割の調整が難しいのではないか	148	74
ウ	上級生の負担が増えたり、下級生が上級生に頼りすぎたりするのではないか	82	45
エ	中学生が小学生に合わせることで、中学校段階の良さがなくなるのではないか	86	59
オ	多くの人数が一度に交流することで、安全管理が難しくなるのではないか	122	62
カ	不安や課題はあまりない	6	0
キ	その他	23	24
Q10 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）			
ア	児童・生徒の自己理解や、自分のよさや可能性に気付くこと	55	12
イ	児童・生徒の他者と協力して社会に関わろうとする力の育成	69	19
ウ	児童・生徒の課題発見、解決のための計画立案など課題対応能力の育成	45	5
エ	児童・生徒の働くことの意義理解や、自分の進路や将来設計を考えること	80	10
オ	児童・生徒の上級学校進学への不安の緩和	98	25
カ	その他	27	29
Q11 「小中一貫教育」で「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を実施する場合の、不安や課題は何ですか？（複数回答可）			
ア	9年間を通したキャリア教育などの指導計画をつくるのが難しいのではないか	147	56
イ	協力してくれる地域の方や企業などを探すが難しいのではないか	58	33
ウ	実施する授業時数の確保が難しいのではないか	115	55
エ	教員の異動などにより、指導計画の趣旨が形骸化するのではないか	105	57
オ	不安や課題はあまりない	10	2
カ	その他	12	16

Q12 「小中一貫教育」を実施し、「小学生の部活動参加」を行うとしたら、何年生から参加することが適切だと考えますか。（1つのみお答えください）（中学校教員のみ回答）			
ア	小3	-	1
イ	小4	-	3
ウ	小5	-	22
エ	小6	-	33
オ	その他	-	43
Q13 「小中一貫教育」で「小学生の部活動参加」や、部活動の継続的な実施に向け、必要なことは何ですか？（複数回答可）（中学校教員のみ回答）			
ア	他校との合同部活動の実施	-	12
イ	地域スポーツクラブとの連携や外部指導員の招聘	-	50
ウ	小学校教員の部活動参加	-	65
エ	第二校地の活用など活動環境の整備	-	44
オ	その他	-	32
Q14 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通した特別支援教育」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）			
ア	特別な支援を必要とする児童・生徒の将来的な自立	73	20
イ	通常の学級と特別支援学級の交流活動などによる、多様性の尊重や相互理解の促進	55	17
ウ	児童・生徒一人一人の特性理解や、状況に応じたきめ細かな指導の充実	90	26
エ	個別指導計画の共通化や共有など、小・中学校間の円滑な引継ぎ	155	59
オ	その他	13	19
Q15 「小中一貫教育」で「9年間を通した特別支援教育」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）			
ア	打ち合わせの回数や作成する資料が増えるのではないかな	139	64
イ	特別支援コーディネーターに求められる役割が増えるのではないかな	127	64
ウ	交流活動を行うための授業時数の確保が難しいのではないかな	106	59
エ	交流活動が増えることにより、児童・生徒の負担が増えるのではないかな	86	49
オ	不安や課題はあまりない	13	3
カ	その他	16	17
Q16 「小中一貫教育」を実施し、「スクールソーシャルワーカー」や、教員以外で学校と地域との連携を推進する「地域担当職員」などの支援スタッフを各校に配置することは、教育相談体制や地域との連携を充実する効果があると思いますか？（1つのみお答えください）			
ア	効果があると思う	110	35
イ	少し効果があると思う	79	29
ウ	あまり効果がないと思う	31	24
エ	その他	11	18

Q17 Q16の取組を行う場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）			
ア	学校に来る支援スタッフが多いと、それぞれの役割が分からなくなるのではないか	104	46
イ	人の出入りが多くなり、個人情報の取扱いや安全管理が難しくなるのではないか	73	58
ウ	支援スタッフが増えることで情報共有の手間がかかるのではないか	142	72
エ	不安や課題はあまりない	24	5
オ	その他	15	9
Q18 現在、武蔵野市が小中一貫教育を実施する場合は、「小学校区ごと」に「施設一体型義務教育学校」を設置することを考えています。その場合、空き校地を義務教育学校の「第二校地」として活用することを考えています。「第二校地」ができた場合、どのように活用できると思いますか？（複数回答可）			
ア	普通の授業	48	14
イ	体育的行事などの学校行事	133	42
ウ	部活動	155	60
エ	適応指導教室（チャレンジルーム）の複数設置	99	35
オ	地域スポーツクラブや地域の方々と連携した取組	108	26
カ	その他	15	19
Q19 「第二校地」を活用する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）			
ア	移動距離や移動時間の制約	197	95
イ	移動時の安全確保や、本校舎との連絡体制	195	91
ウ	使用時のルールや使用割振り	134	71
エ	施設の点検・整備などの管理	150	73
オ	不安や課題はない	4	2
カ	その他	8	14

Q20 「小中一貫教育」の実施の有無に関わらず、これからの学校教育で重要だと思うものを、以下の中から「3つ」選んでください。			
ア	基礎的・基本的な知識・技能の定着	111	51
イ	思考力、判断力、表現力の育成	122	42
ウ	学ぶ意欲の育成	98	35
エ	他者への思いやりを育むこと	120	49
オ	社会の一員として自分の意見や意志をもって行動できる力を育むこと	121	61
カ	健康な生活習慣の基礎づくり	36	30
キ	運動能力の向上や運動習慣の確立	23	10
ク	児童・生徒一人一人の特性に応じた特別支援教育の推進	67	21
ケ	家庭に対する支援	19	10
コ	児童・生徒の放課後の居場所づくり	13	6
サ	地域との連携	7	6

5 参考資料

(1)集計表 ―小学生・中学生・高校生・大学生―

- ・設問及び選択肢は小学生向けのを記載しています。各層ごとのアンケート用紙は140ページ以降に掲載しています。
- ・中学生向け問4の選択肢4は、小学生向けの問4の選択肢4と5を合わせた内容です。
- ・高校大学生向け問3は、ここでは問4として扱い、選択肢4は小学生向けの選択肢4と5を合わせた内容です。
- ・高校大学生向け問5は、ここでは問6として扱っています。
- ・問6は各層ごとの集計結果を記載しています。

		小学生	中学生	高校生	大学生
回答者数		357	183	9	11
問1 あなたは、ふだんの学校生活の中で、どのようなことに挑戦(ちょうせん)したり、がんばったりしていますか。(いくつ〇をしてもかまいません)					
1	苦手な勉強や運動などを、少しでもできるようにすること	215	107	5	3
2	得意な勉強や運動などを、さらにできるようにすること	225	87	6	5
3	疑問に思ったことを調べたり、考えたりしたことをまとめること	129	26	3	1
4	友達や下級生と協力したり、仲良くしたりすること	233	115	9	8
5	係や委員会など、自分の役割や責任をしっかりと果たすこと	225	82	7	7
6	その他	18	15	0	2
問2 これからの武蔵野市の学校では、どのようなことができるとよいと思いますか。(いくつ〇をしてもかまいません)					
1	苦手な勉強や運動などが、少しでもできるようになること	207	98	7	9
2	得意な勉強や運動などが、さらにできるようになること	160	74	7	7
3	疑問や課題を本やタブレットPCなどですぐに調べられること	237	95	4	5
4	友達や下級生と協力したり、仲良くしたりすること	175	79	6	8
5	地域の人や様々な分野の専門家やプロの人などの方から学べること	202	64	4	9
6	困ったことや悩みごとがあったら、先生以外にもすぐに相談ができること	175	54	4	6
問4 放課後に、学校で色々なことができるとしたら、どのようなことをやってみたいですか？(いくつ〇をしてもかまいません)					
1	その日の勉強の復習や次の日の予習をすること	117	84	3	3
2	学校の図書館で読書をしたり、本を借りたりすること	219	66	0	3
3	校庭で友達や他の学年の子と遊ぶこと	149	60	3	6
4	スポーツクラブのような練習をすること	163	63	6	10
5	料理、スポーツ体験、昔遊びなどに挑戦すること	215			

【小学生】問6 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を話し合う中で、小学校と中学校を一つにした今までにない新しい教育や学校の仕組みについても考えています。もし小学校と中学校が一つの学校になったら、あなたならどのようなことをやってみたいと思いますか？（いくつ○をしてもかまいません）		
1	小学校の授業（算数、図工、体育、外国語活動など）を、中学校の専門の先生にも教えてもらいたい	206
2	中学生に、小学校の勉強を教えてもらいたい	124
3	中学生といっしょに、学校行事や交流学習、交流給食などをやってみたい	193
4	中学校の部活動に参加してみたい	248

【中学生】問6 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を話し合う中で、小学校と中学校を一つにした今までにない新しい教育や学校の仕組みについても考えています。もし小学校と中学校が一つの学校になったら、あなたならどのようなことをやってみたいと思いますか？（いくつ○をしてもかまいません）		
1	中学校の授業を、小学校の先生にも教えてもらいたい	30
2	小学生に、勉強や運動などを教えてみたい	28
3	小学生と一緒に、学校行事や交流学習、交流給食などをやってみたい	51
4	部活動に小学校高学年を参加させ、一緒に練習してみたい	52

【大学生】問5 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を検討した結果として小・中学校を一つにして施設一体型義務教育学校が設置された場合に、どのようなことが実現できるとよいと思いますか？（複数回答可）		高校生	大学生
1	小・中学校の教員による相互乗り入れ授業	4	9
2	中学生による小学生への勉強や運動の指導	4	7
3	小学生と中学生が合同で行う学校行事や交流学習、交流給食	7	8
4	小学校高学年と中学生が合同で行う部活動	3	3



武蔵野市小中一貫教育検討委員会の 検討状況に関する意見交換会



小中連携教育と小中一貫教育の違いは？

- 小中連携教育：小・中学校の先生同士の情報交換、小・中学生の交流等小・中学校間の円滑な接続を目指す教育。
- 小中一貫教育：小・中学校間で目指す子ども像を共有し、**9年間を通したカリキュラムづくり**を目指す教育。
- これまで行ってきた小中連携教育を、更に進めるのが小中一貫教育です。



小中一貫教育をおこなうことで学校はどう変わるのか？

- 仮に本市で小中一貫教育を実施する場合、**全小学校区**に、一つの施設で9年間の義務教育をおこなう「**施設一体型**」の「**義務教育学校**」を設置することを検討中です（小学校区に複数の校地がある場合は、より広い校地に設置）。
- 「**義務教育学校**」は一人の校長の下、義務教育9年間を通した 学校の教育目標の設定やカリキュラムづくりを行う学校です。
- **教育内容**は、これまで小学校6年間、中学校3年間で実施してきたものと同じですが、義務教育9年間で、小学校6年と中学校3年で分けず、より**系統的な教育**を目指すタイプの学校です。
- また、小・中学校間の先生の移動時間や調整等が減るよう、施設を一つにする「**施設一体型**」を検討しています。



なぜ検討しているのか？ なぜ今なのか？

- 地方自治体には、**9年間の義務教育を実施する責任**があり、本市では小学校12校、中学校6校を設置しています。
- 今後、**多くの学校が改築を検討する時期**を迎えます。学校施設の在り方は、そこで行われる学校教育を抜きにして考えられません。そのため、**今、未来の武蔵野の学校の在り方**について、検討することが必要です。
- 特に、これまでの**小学校、中学校での教育のよさや優れた取組**を生かしつつ、これからの**社会や環境の変化**にも対応できるよう、**9年間の義務教育をより高めるための取組み・施策の幅**を広げる必要があります。
- これまでの問題や課題を解決するだけでなく、**未来の武蔵野の教育の基盤として、どのような学校が良いか、一緒に考えま**しょう。

どのように検討しているのか？

- **小中一貫教育と小中別教育を多角的な視点から比較し、市民や教職員、当事者の意見も参考に**しながら検討しています。





これからの武蔵野市の学校教育

これまでの学校教育
(小・中学校が別校舎)
をさらに進めていく場合

義務教育9年間
を通して

- ①知、徳、体のバランスのとれた教育をこれまで以上に進めます。
②保護者や地域の方々と一体となって子どもたちの望ましい成長を支援します。

知

基礎基本の定着や、自ら学び、考える力の育成を大切に、学ぶ意欲を育みます

これまでの取組

○算数、数学、英語などで習熟度別指導等を実施

子ども一人一人の特性に応じた学習集団をつくり、きめ細かな指導を進めてきました。



これから検討する取組

○教員の専門性や小中連携を生かした指導の充実

教員の専門性を生かし、一部の教科を学級担任間で交換する一部教科担任制(小学校高学年)や、相互乗入授業(中学教員の専門性を生かした小学生向け授業や小学校教員による教え子の中学生への学習支援)等を可能な範囲で検討します。

徳

市民性や社会性の向上を目指し、思いやりの心や意思をもって行動する力を育みます

これまでの取組

○体験活動や交流活動の重視

セカンドスクールや異年齢交流など、様々な体験や交流活動を進めてきました。



これから検討する取組

○小・中学校が連携したキャリア教育の実施

小・中学校で連携し、自分の生き方や働くことの意義などについて体系的に指導を行います。

○武蔵野市民科の実施(高学年～中学校)

地域や社会の課題などを見つけ、自分ならどうするか考え、行動するという学習を現在、検討しています。



体

体力と健康の基礎づくりや運動能力の向上、運動習慣の確立を目指します

これまでの取組

○体育を専門とした指導員の配置(小学校)

一部の学校に、中学校保健体育の指導経験がある指導員を配置してきました。



これから検討する取組

○小・中学校が連携した体育の授業の実施

中学校保健体育の教員による小学校体育の授業支援や、小学校からの連続した指導などを今後検討します。

○部活動のあり方に関する検討

部活動を維持できるように、合同部活、地域の方々との連携、外部指導員の部活動への参加などを今後検討します。



**子ども
家庭の支援**

子ども一人一人の成長を支えるための機能をこれまで以上に高めていきます

これまでの取組

○特別支援教育の推進

学校生活支援シートや個別指導計画を作成し、一人一人の子どもの特性に応じた支援を進めてきました。

○学童やあそべえの設置

学童や放課後の子どもの居場所づくりを学校内に進めてきました。



これから検討する取組

○教育支援センターや子ども家庭支援センター等との更なる連携

心理や福祉の専門家(スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー)など様々な専門職と連携し、子どもの成長を支援します。

**地域コミュニティ
とのつながり**

子どもたちの成長を支える地域基盤をより一層確かなものにしていきます

これまでの取組

○小・中学校それぞれのPTA、青少協などの取組

PTAによる地域パトロールや青少協によるむさしのジャンボリーなど、これまでも地域の高い教育力に学校は支えられてきました。

○地域コーディネーターの取組

地域の方々に協力してもらい、学校の教育活動を支援する地域人材を発掘し、交渉・調整を行っていただきました。



これから検討する取組

○地域担当職員の配置の検討

学校と地域のつながりを支援する職員の配置が財政的に可能か検討します。

学校施設

校庭や校舎について必要な面積を確保することが困難な場合があります。その場合、児童・生徒数のピークを避けて建設するなどの対応を今後、検討していきます。また、学校施設の多機能化と他の公共施設との複合化を検討する場合も考えられます。

小中一貫教育を実施する場合
(小学校区ごとに
小中一貫校を設置)

これからの武蔵野市の学校教育



義務教育9年間
を通して

- ①知、徳、体のバランスのとれた教育をこれまで以上に進めます。
- ②保護者や地域の方々と一緒に子どもたちの望ましい成長を支援します。

知

基礎基本の定着や、自ら学び、考える力の育成を大切にし、学ぶ意欲を育みます

これから検討する取組

○義務教育9年間を見据えた指導の実施

小・中学校の教員が同じ校舎にいることを生かし、子どもの発達段階に応じた学習規律の指導や、系統的な指導の工夫など、小学校入学から中学校卒業までを見据えた指導を行います。

○教員の専門性や小中連携を生かした指導の充実

小・中学校の教員が同じ校舎にすることで、一部教科担任制や、相互乗入授業等を実施する場合に、教員間の情報連携が行いやすくなり、更に充実した取組ができます。



徳

市民性や社会性の向上を目指し、思いやり
の心や意思をもって行動する力を育みます

これから検討する取組

○異年齢交流の更なる推進

例えば小4と中1がペアとなり、交流します。下学年にとって上学年が精神的な支柱となり、上学年には学校を支える責任感が芽生える指導を行います。

○9年間を通したキャリア教育や進路指導の実施

9年間を通し、自分の生き方や働くことの意義、上級学校進学などについて体系的に指導します。

○武蔵野市民科の実施(高学年～中学校)

地域や社会の課題などを見つけ、自分ならどうするか考え、行動するという学習を現在、検討しています。



体

体力と健康の基礎づくりや運動能力の
向上、運動習慣の確立を目指します

これから検討する取組

○小・中学校が連携した体育の授業の実施

中学校の保健体育科教員による小学校の体育の授業支援や、小学校からの連続した指導のあり方などを今後検討します。

○部活動のあり方に関する検討

部活動を維持できるように、合同部活、地域の方々との連携、外部指導員の部活動への参加などを今後検討します。

○元校地を第2校地として活用

小中一貫校を小学校区ごとに建てることで生まれる第2校地を、地域の遊びや運動・スポーツに親しむ場にすることを検討します。



子ども一人一人の成長を支えるプラットフォーム
(基盤)としての機能を高めていきます

特別支援
教育の推進

これから検討する取組

○将来の自立に向けた長期的な支援

小・中学校の円滑な引継ぎなど、子どもの特性に応じた支援を9年間見通して行います。

○特別支援学級における支援の充実

9年間安心して通える環境づくりや、相互理解を深める交流や共同学習を推進します。

家庭支援の
体制づくり

これから検討する取組

○多様な支援・相談ができる体制構築

職員室に、心理や福祉など多様なスタッフを常駐させ、子どもの支援や様々な相談・援助を行う体制づくりを検討します。



子どもの
居場所づくり

これから検討する取組

○9年間を通した子どもの

居場所づくり(第2校地の活用)

第2校地を活用し、複数箇所の適応指導教室の設置や、地域スポーツクラブ等と連携した生涯学習・生涯スポーツの推進を検討します。

より強く・確かな
学校・地域の関係

これから検討する取組

○9年間の子どもの成長を支える 地域と学校の関係

子どもたちを支援するための学校、家庭、地域の協働体制のあり方を検討します。

○地域担当職員の配置

学校と地域のつながりを支援する職員の配置を検討します。



学校施設

小中一貫校を小学校区ごとに設置する場合、小学校低学年が使用する庭や、全ての子どもが活動するのに必要な面積の校庭や校舎を確保することが難しい場合が出てきます。その場合、児童・生徒数のピークを避けて建設するなどの対応を今後、検討していきます。

Q&A

1 どのように検討を進めてきたのか？

- 平成27年度、教育部で小中一貫教育に関する調査研究を開始し、教育課程、生活指導の視点で小中一貫教育の可能性を調査研究しました。
- 武蔵野市小中連携教育推進委員会報告書（平成28年2月）
- 平成28年度、11回にわたる意見交換会等、上記報告書をベースにして、市民の方々、学校関係者と意見交換。
- 武蔵野市小中一貫教育調査研究ワーキングチームにおける論点整理（平成29年2月）
- 平成29年度に小中一貫教育検討委員会を設置し、小中一貫教育の実施の是非について検討しています。

2 武蔵野市小中一貫教育検討委員会とは？

- 平成27年度から教育部で調査研究を始めた小中一貫教育について、その実施の是非を検討するため、**平成29年度**に設置されました。
- 検討委員は、**学識経験者や校長、市民委員（PTA、青少協、コミュニティ）、行政関係者**からなり、今年度内に小中一貫教育の実施の是非について答申する予定です。

3 今後のスケジュールは？

- 平成29年度内に、検討委員会が小中一貫教育の実施の是非について答申します。
- 平成30年4～5月頃、教育委員会が市民説明会やパブリックコメントを実施します。
- 平成30年6～7月頃、教育委員会定例会で基本的な方針について協議します。
- その後、学校施設整備基本計画、第三期学校教育計画、第六期長期計画の策定に進みます。
- 小中一貫教育実施の場合、**2025年前後**開校を予定する学校改築に合わせて、具体的な内容の検討を進めます（2015年から**10年前後**かけて検討することとなります）。

4 学校改築は必要だが、小中一貫教育の検討は後でもよいのでは？

- 仮に小中一貫教育を実施する場合、その施設形態は、一つの施設で実施する施設一体型、施設を複数に分ける施設分離型・施設隣接型に分かれます。
- 施設一体型の場合は、現在の小・中学校別の改築の場合と様々な点で異なります。例えば、学校施設の構造や、すべての学校改築が完了する期間、改築順序等、学校改築のプランニングのための基本的な要素が大きく異なることになります。
- このため、学校改築の検討の前に小中一貫教育を実施するのか検討する必要があります。

5 教員の多忙化や児童生徒数増加対策を優先するべきではないか？

- 教員の多忙化対策は喫緊の課題であり、「先生いきいきプロジェクト」により総合的な対策を実施しています。
- また、今後10年で児童生徒数が約3割増加するため、校舎や給食施設等施設上の対応を検討し、順次実施しています。
- その一方で、今後、昭和30～50年代に建築した学校の改築を計画的に進める必要があります。すでに最も古い校舎は建築後57年を経過し、学校の改築を先延ばしにすることはできません。
- そのため、児童生徒数増加対策と学校改築のプランニング、小中一貫教育の実施の是非を並行して検討する必要があります。

➤ **武蔵野市小中一貫教育検討委員会の資料と会議要録は市ホームページで公表しています。**
 トップページ > くらしのガイド > 教育委員会 > 武蔵野市における小中一貫教育の検討 > 武蔵野市小中一貫教育検討委員会（平成29年7月～）
http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/yk/oikui/1013288/1017204/1017728.html

➤ 事務局

武蔵野市教育委員会教育企画課教育調整担当
 〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28
 電話番号：0422-60-1972
 ファクス番号：0422-51-9260



平成○年○月○日 (○) 午後○時
会場名

武蔵野市小中一貫教育検討委員会
検討状況に関する意見交換会

次第

1. 開 会
2. 挨拶
3. 意見交換会の進め方について
4. 武蔵野市小中一貫教育検討委員会 検討状況について説明
5. 説明内容への質疑応答
6. 参加者同士による意見交換と発表
7. アンケート
8. 閉 会

*名札には意見交換で呼ばれるお名前を書いてください。本名でなくとも結構です。

配布資料

- 意見交換会に関する説明資料 (カラー・A3)
- 武蔵野市小中一貫教育検討委員会検討状況に関する意見交換会 アンケート (保護者・地域向け)

担当

武蔵野市小中一貫教育検討委員会事務局
武蔵野市教育委員会教育企画課教育調整担当
電話：0422-60-1972 FAX：0422-51-9260
メール：SEC-KYOUIKU@city.musashino.lg.jp

意見交換会の進め方について

武蔵野市小中一貫教育検討委員会において、今後の武蔵野市の学校教育の在り方を検討していくための参考として、皆さまの率直なご意見をお聞かせください

～本日の流れ～ ※（ ）内は目安時間です。進行状況により変更する場合があります

(1) 教育委員会事務局からの説明（およそ 35 分）

○現在、小中一貫教育検討委員会で話し合われている内容等について、教育委員会事務局より説明いたします。

(2) 説明内容に関する質疑応答（およそ 20 分）

○近くの方とグループになってください。市の職員がグループに入りますので、説明内容で分からなかった部分や、もう少し詳しく聞きたいことなどを、ご質問ください。

(3) 参加者同士の意見交換（およそ 15 分×2 回 発表 10 分）

○「これからの学校のあり方」について、以下の 8 つのテーマを参考にグループごとに意見交換をしていただきます。

学校の教育機能について

- ①「知（勉強）」に関する願い
- ②「徳（豊かな心など）」に関する願い
- ③「健康・体力」に関する願い

学校・家庭・地域・福祉的な専門職等が連携協力した学校づくりについて

- ④子どもや家庭の支援（特別支援教育など）
- ⑤放課後や地域における子どもの居場所
- ⑥地域と学校の連携
- ⑦教育現場を支援する人材
- ⑧学校施設の活用（地域開放や、他の施設との複合化・第二校地の活用等）

※1 回目の意見交換後、どのような意見が出たか、グループごとに簡単に発表していただき、全体共有します。

※2 回目の意見交換は、グループのメンバーを変えて行います。司会者が案内するとおりに席を移動してください。

※意見交換中、市の職員はグループ間を巡回していますので、分からないことがありましたら、ご質問ください。

※意見交換の際に、机上の付箋をご利用ください。発表や2 回目の意見交換の際の参考となります。

※グループごとの人数の偏りが大きい場合は、人数調整をさせていただく場合があります。ご了承ください。

意見交換では、テーマに関することについて、

「これからの学校は〇〇を大切にしてほしい」 「こういうこともできるといいね」

「▲▲というようなことはできないだろうか」 「□□といったことが心配かも…」

…といった皆さまの率直なご意見や思いを交換してください。

(4) アンケートの記入・提出（およそ 5 分）

○事務局からの説明や質疑応答、参加者同士の意見交換を踏まえ、今後の学校教育の在り方について、皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

○ご記入いただいたアンケートは集約・分析した後、小中一貫教育検討委員会に、今後の検討に向けた「市民からの参考意見」としてご報告させていただきます。

本日は意見交換会にご参加いただきありがとうございました。今後の検討の参考とさせていただきますので、以下のアンケートにご回答ください。

*参加された方についてお答えください。

開催日 (月 日)

お住まいの小学校区 (小学校区)

Q1 次のうち、これからの学校にとって重要だと思うものを5つお答えください。

- ①発展的な学習による学力の向上
- ②基礎的・基本的な学習内容を身に付け、学習の遅れやつまずきをなくすこと
- ③学習への興味・関心の育成
- ④他者への思いやりなどを育むこと
- ⑤他者との協働のための社会性の育成
- ⑥主体性の育成
- ⑦健康な生活習慣の確立
- ⑧技術的、体力的な運動能力の向上
- ⑨運動習慣の確立
- ⑩9年間を通した、放課後の子どもの居場所づくり
- ⑪一人一人の特性に応じた、子どもの自立をめざす特別支援教育
- ⑫様々な課題や背景のある子どもや家庭に対する、専門スタッフによる支援・相談が可能な体制
- ⑬学校で子どもが相談しやすい体制
- ⑭保護者や地域の方々にとって持続可能な学校と地域の協働体制
- ⑮学校と地域が連携した子どもの支援
- ⑯教育現場を支援する人材の充実
- ⑰子どもがのびのびと過ごせる校舎や校庭などの整備
- ⑱今後の地域の課題に対応するための、学校施設の有効活用

A () () () () ()

Q2 基礎・基本の定着や、自ら学び、考える力の育成を大切に、一生涯の学びを支える学ぶ意欲を育むために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

- ①系統性と連続性を生かした、義務教育9年間を見据えた指導
- ②学習の習熟度に応じた、少人数・習熟度別によるきめ細かい指導
- ③小学校高学年における一部教科担任制など、小・中学校教員の専門性を生かした指導
- ④小・中学校の教員の連携による相互乗り入れ授業
- ⑤その他 ()

A ()

裏面に続きます

Q3 他者への思いやりや、社会の一員として意志をもって行動する力を育むために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

- ①体験活動（セカンドスクールや職場体験等）
- ②学校における異年齢交流
- ③地域の大人との交流
- ④小・中学校が連携した、生き方を学ぶ取組（キャリア教育）
- ⑤その他（ ） A ()

Q4 生涯にわたる健康の保持増進や、運動能力を身に付け、運動習慣を確立するために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

- ①小学校への体育専門の指導員の配置
- ②小・中学校が連携した体育の授業の実施
- ③外部指導員の部活動への参加
- ④地域スポーツクラブなどとの連携（部活動の組織的支援やスポーツイベント開催等）
- ⑤その他（ ） A ()

Q5 子どもや家庭、地域や教員を支援するために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

- ①スクールソーシャルワーカーなど、教育現場を支援する人材の充実
- ②多様な課題を抱える子どもを支えるための、学校と地域が連携した居場所づくり
- ③学校と地域のつながりを支援するための地域担当職員の配置
- ④既存の地域組織（PTA や青少協、開かれた学校づくり協議会等）の小学校区に合わせた仕組みづくり
- ⑤その他（ ） A ()

Q6 今日の意見交換会を通してのご感想やご意見、検討委員会に期待すること等について、下欄にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

平成 30 年 1 月

武蔵野市立小・中学校教員の皆様へ

「『施設一体型義務教育学校の設置』による小中一貫教育」の 検討に関するアンケート

武蔵野市教育委員会教育企画課

本日は御多用の中、「『施設一体型義務教育学校』の設置による小中一貫教育（以下、小中一貫教育）」の検討に関する説明の時間をいただきまして、ありがとうございました。
今後、武蔵野市小中一貫教育検討委員会が、「小中一貫教育」の実施の是非を検討する際の参考とさせていただきますので、今回の説明を受けて、先生方が思われたことなど、以下のアンケートにご回答ください。

次の質問の中で、御自分の考えに近いものの記号に○をしてください。その他を選んだ場合は、意見を（ ）の中に御記入ください。

Q 1 「小中一貫教育」を実施し、「義務教育 9 年間を見据えた学習指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

- ア 児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力、判断力、表現力の育成
- イ 児童・生徒の学ぶ意欲の育成
- ウ 児童・生徒の学習習慣の確立
- エ 義務教育 9 年間を通した学習規律の設定や、学習スキル等の指導の充実
- オ 義務教育 9 年間を通した学習上の個別のつまずきへの配慮
- カ その他（ ）

Q 2 「小中一貫教育」を実施し、「義務教育 9 年間を見据えた学習指導」を推進する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

- ア 9 年間を通した指導計画の作成や学習規律の設定が難しいのではないかな
- イ 9 年間を通した指導を行うための研修などが増えるのではないかな
- ウ 教員一人あたりの授業の持ち時数が増えるのではないかな
- エ 教員の異動などにより、指導計画の趣旨が形骸化するのではないかな
- オ 不安や課題はあまりない
- カ その他（ ）

※小学校教員のみ、お答えください※

Q 3 「小中一貫教育」を実施し、「小学校高学年での一部教科担任制」を実施すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

- ア 児童の基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力、判断力、表現力の育成
- イ 児童の学ぶ意欲の育成
- ウ 中学校段階での完全教科担任制へのスムーズな移行
- エ 授業の反省点を次の授業に生かすなど、指導方法の工夫改善
- オ 複数教員による多面的な児童理解や、教員同士が連携した生活指導
- カ その他()

※小学校教員のみ、お答えください※

Q 4 特にどの教科で実施すると、効果があると思いますか？（複数回答可）

- | | | |
|------|------|-------|
| ア 国語 | イ 社会 | ウ 理科 |
| エ 家庭 | オ 体育 | カ 外国語 |

※小学校教員のみ、お答えください※

Q 5 「小中一貫教育」で「小学校高学年での一部教科担任制」を実施する場合の、不安や課題は何ですか？（複数回答可）

- ア 全ての教員が、自分の専門性を生かすのは難しいのではないか
- イ 固定時間割の編成が難しいのではないか
- ウ 児童の総合的な学習状況の把握や、信頼関係づくりが難しいのではないか
- エ 複数教科の内容を組み合わせた合科的な指導ができなくなるのではないか
- オ 欠席児童の連絡や、宿題の総量調整等、教科担任同士の連携が難しいのではないか
- カ 不安や課題はあまりない
- キ その他()

Q 6 「小中一貫教育」を実施し、「小・中学校での相互乗入授業」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

- ア 児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力、判断力、表現力の育成
- イ 児童・生徒の学ぶ意欲の育成
- ウ 中学校進学に関する児童の不安緩和
- エ 義務教育 9 年間を通した児童・生徒の成長に関する小・中学校教員の理解
- オ その他 ()

Q 7 「小中一貫教育」で「小・中学校での相互乗入授業」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

- ア 相互乗入授業を行うための打ち合わせの時間がとれないのではないか
- イ 教員一人あたりの授業の持ち時数が増えるのではないか
- ウ 小学校段階と中学校段階の授業開始時刻の調整が難しいのではないか
- エ 異なる学校段階の授業や授業支援は、教員の持ち味を生かせないのではないか
- オ 所有する免許状の多い教員のみに負担が偏るのではないか
- カ 不安や課題はあまりない
- キ その他()

Q 8 「小中一貫教育」を実施し、「児童・生徒の異年齢交流」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

- ア 児童・生徒の自分で考え、責任もって行動する力を育むこと
- イ 児童・生徒の自己理解や、自分のよさ、可能性に気付くこと
- ウ 児童・生徒の他者と協力していこうとする態度を育むこと
- エ 児童・生徒の他者への思いやりの心を育むこと
- オ その他()

Q 9 「小中一貫教育」で同じ学校内で「児童・生徒の異年齢交流」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

- ア 交流内容の吟味など打ち合わせの時間がとれないのではないか
- イ 実施する授業時数の確保や、時間割の調整が難しいのではないか
- ウ 上級生の負担が増えたり、下級生が上級生に頼りすぎたりするのではないか
- エ 中学生が小学生に合わせることで、中学校段階の良さがなくなるのではないか
- オ 多くの人数が一度に交流することで、安全管理が難しくなるのではないか
- カ 不安や課題はあまりない
- キ その他()

Q 10 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

- ア 児童・生徒の自己理解や、自分のよさや可能性に気付くこと
- イ 児童・生徒の他者と協力して社会に関わろうとする力の育成
- ウ 児童・生徒の課題発見、解決のための計画立案など課題対応能力の育成
- エ 児童・生徒の働くことの意義理解や、自分の進路や将来設計を考えること
- オ 児童・生徒の上級学校進学への不安の緩和
- カ その他()

- Q 11 「小中一貫教育」で「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を実施する場合の、不安や課題は何ですか？（複数回答可）
- ア 9年間を通したキャリア教育などの指導計画をつくることが難しいのではないか
 - イ 協力してくれる地域の方や企業などを探すことが難しいのではないか
 - ウ 実施する授業時数の確保が難しいのではないか
 - エ 教員の異動などにより、指導計画の趣旨が形骸化するのではないか
 - オ 不安や課題はあまりない
 - カ その他()

※中学校教員のみ、お答えください※

- Q 12 「小中一貫教育」を実施し、「小学生の部活動参加」を行うとしたら、何年生から参加することが適切だと考えますか。（1つのみお答えください）
- ア 小3 イ 小4 ウ 小5 エ 小6 オ その他()

※中学校教員のみ、お答えください※

- Q 13 「小中一貫教育」で「小学生の部活動参加」や、部活動の継続的な実施に向け、必要なことは何ですか？（複数回答可）
- ア 他校との合同部活動の実施
 - イ 地域スポーツクラブとの連携や外部指導員の招聘
 - ウ 小学校教員の部活動参加
 - エ 第二校地の活用など活動環境の整備
 - オ その他()
- Q 14 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通した特別支援教育」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）
- ア 特別な支援を必要とする児童・生徒の将来的な自立
 - イ 通常の学級と特別支援学級の交流活動などによる、多様性の尊重や相互理解の促進
 - ウ 児童・生徒一人一人の特性理解や、状況に応じたきめ細かな指導の充実
 - エ 個別指導計画の共通化や共有など、小・中学校間の円滑な引継ぎ
 - オ その他()

Q15 「小中一貫教育」で「9年間を通した特別支援教育」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

- ア 打ち合わせの回数や作成する資料が増えるのではないか
- イ 特別支援コーディネーターに求められる役割が増えるのではないか
- ウ 交流活動を行うための授業時数の確保が難しいのではないか
- エ 交流活動が増えることにより、児童・生徒の負担が増えるのではないか
- オ 不安や課題はあまりない
- カ その他()

Q16 「小中一貫教育」を実施し、「スクールソーシャルワーカー」や、教員以外で学校と地域との連携を推進する「地域担当職員」などの支援スタッフを各校に配置することは、教育相談体制や地域との連携を充実する効果があると思いますか？
（1つのみお答えください）

- ア 効果があると思う
- イ 少し効果があると思う
- ウ あまり効果がないと思う
- エ その他()

Q17 Q16 の取組を行う場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

- ア 学校に来る支援スタッフが多いと、それぞれの役割が分からなくなるのではないか
- イ 人の出入りが多くなり、個人情報への取扱いや安全管理が難しくなるのではないか
- ウ 支援スタッフが増えることで情報共有の手間がかかるのではないか
- エ 不安や課題はあまりない
- オ その他()

Q18 現在、武蔵野市が小中一貫教育を実施する場合は、「小学校区ごと」に「施設一体型義務教育学校」を設置することを考えています。その場合、空き校地を義務教育学校の「第二校地」として活用することを考えています。「第二校地」ができた場合、どのように活用できると思いますか？（複数回答可）

- ア 普段の授業
- イ 体育的行事などの学校行事
- ウ 部活動
- エ 適応指導教室（チャレンジルーム）の複数設置
- オ 地域スポーツクラブや地域の方々と連携した取組
- カ その他()

Q 19 「第二校地」を活用する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

- ア 移動距離や移動時間の制約
- イ 移動時の安全確保や、本校舎との連絡体制
- ウ 使用時のルールや使用割振り
- エ 施設の点検・整備などの管理
- オ 不安や課題はない
- カ その他()

Q 20 「小中一貫教育」の実施の有無に関わらず、これからの学校教育で重要だと思うものを、以下の中から「3つ」選んでください。

- ア 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- イ 思考力、判断力、表現力の育成
- ウ 学ぶ意欲の育成
- エ 他者への思いやりを育むこと
- オ 社会の一員として自分の意見や意志をもって行動できる力を育むこと
- カ 健康な生活習慣の基礎づくり
- キ 運動能力の向上や運動習慣の確立
- ク 児童・生徒一人一人の特性に応じた特別支援教育の推進
- ケ 家庭に対する支援
- コ 児童・生徒の放課後の居場所づくり
- サ 地域との連携

Q 21 武蔵野市が検討する「小中一貫教育」に対するご意見をご記入ください。

ありがとうございました

平成 30 年 1 月

武蔵野市の小学生のみなさんへ

これからの教育や学校についての アンケート

武蔵野市の小学校の校舎は、できてからもうすぐ 60 年がたちます。そこで今、先生や保護者、地域、市役所などたくさんの大人が「これからの武蔵野市の教育や学校をどうしていくか」を話し合っています。この話し合いをさらに進めていくために、小学校に通うみなさんから意見を知りたいと考えています。

次の質問の中で、自分の考えに近いものの番号に○をしたり、自分の考えを書いたりしてください。

問 1 あなたは、ふだんの学校生活の中で、どのようなことに挑戦したり、がんばったりしていますか。(いくつ○をしてもかまいません)

- 1 苦手な勉強や運動などを、少しでもできるようにすること
- 2 得意な勉強や運動などを、さらにできるようにすること
- 3 疑問に思ったことを調べたり、考えたりしたことをまとめること
- 4 友達や下級生と協力したり、仲良くしたりすること
- 5 係や委員会など、自分の役割や責任をしっかりと果たすこと
- 6 その他 ()

問 2 これからの武蔵野市の学校では、どのようなことができるとよいと思いますか。(いくつ○をしてもかまいません)

- 1 苦手な勉強や運動などが、少しでもできるようになること
- 2 得意な勉強や運動などが、さらにできるようになること
- 3 疑問や課題を本やタブレット PC などですぐに調べられること
- 4 友達や下級生と協力したり、仲良くしたりすること
- 5 地域の人や様々な分野の専門家やプロの人などの方から学べること
- 6 困ったことや悩みごとがあったら、先生以外にもすぐに相談ができること

問 3 問 2 で○をしたこと以外に、「こんなことができるといいな」ということがあったら書いてください。

うらに続きます

問 4 放課後に、学校で色々なことができるとしたら、どのようなことを
やってみたいですか？（いくつ○をしてもかまいません）

- 1 その日の勉強の復習や次の日の予習をすること
- 2 学校の図書館で読書をしたり、本を借りたりすること
- 3 校庭で友達や他の学年の子と遊ぶこと
- 4 スポーツクラブのような練習をすること
- 5 料理、スポーツ体験、昔遊びなどに挑戦^{ちようせん}すること

問 5 問 4 で○をしたこと以外に、「こんなことをやってみたい」と思うこ
とがあったら書いてください。

問 6 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を話
し合う中で、小学校と中学校を一つにした今までにない新しい教育
や学校の仕組みについても考えています。
もし小学校と中学校が一つの学校になったら、あなたならどのよう
なことをやってみたいと思いますか？（いくつ○をしてもかまいません）

- 1 小学校の授業（算数、図工、体育、外国語活動など）を、中学校の専門の
先生にも教えてもらいたい
- 2 中学生に、小学校の勉強を教えてもらいたい
- 3 中学生といっしょに、学校行事や交流学習、交流給食などをやってみたい
- 4 中学校の部活動に参加してみたい

問 7 問 6 で○をしたこと以外に、「こんなことをやってみたい」と思うこ
とがあったら書いてください。

アンケートは以上になります。ありがとうございました。

平成 30 年 1 月

武蔵野市の中学生の皆さんへ

これからの教育や学校についてのアンケート

武蔵野市の中学校の校舎は、できてからもうすぐ 60 年が経ちます。そこで今、先生や保護者、地域、市役所などたくさんの大人が「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を話し合っています。この話し合いをさらに進めていくために、中学校に通う皆さんからも意見を聞きたいと考えています。

次の質問の中で、自分の考えに近いものの番号に○をしてください。また、その他を選んだ人は、() の中に、自分の考えを書いてください。

問 1 あなたは、ふだんの学校生活の中で、どんなことに挑戦したり、がんばったりしていますか。(いくつ○をしてもかまいません)

- 1 苦手な勉強や運動などを、少しでもできるようにすること
- 2 得意な勉強や運動などを、さらにできるようにすること
- 3 疑問に思ったことを調べたり、考えたりしたことをまとめること
- 4 友達や他の生徒と協力して、学校行事や部活動などに取り組むこと
- 5 係や生徒会、委員会など、自分の役割や責任をしっかりと果たすこと
- 6 その他 ()

問 2 これからの武蔵野市の学校では、どのようなことができるとよいと思いますか。(いくつ○をしてもかまいません)

- 1 苦手な勉強や運動などが、少しでもできるようになること
- 2 得意な勉強や運動などが、さらにできるようになること
- 3 疑問や課題を本やタブレット PC などですぐに調べることができること
- 4 友達や他の生徒と協力して、学校行事や部活動などに取り組むこと
- 5 地域の人や様々な分野の専門家やプロの人などの方から学べること
- 6 困ったことや悩みごとがあったら、先生以外にもすぐに相談ができること

問 3 問 2 で○をしたこと以外に、「こんなことができるといいな」ということがあったら書いてください。

問 4 放課後に、学校で色々なことができるとしたら、どのようなことを
やってみたいですか？（いくつ○をしてもかまいません）

- 1 その日の勉強の復習や次の日の予習をすること
- 2 学校の図書館で読書をしたり、本を借りたりすること
- 3 校庭で友達や他の学年の子と遊ぶこと
- 4 スポーツクラブや体験教室（料理、伝統芸能など）に挑戦すること

問 5 問 4 で○をしたこと以外に、「こんなことをやってみたい」と思うこ
とがあったら書いてください。

問 6 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を話
し合う中で、小学校と中学校を一つにした今までにない新しい教育
や学校の仕組みについても考えています。
もし小学校と中学校が一つの学校になったら、あなたならどのよう
なことをやってみたいと思いますか？（いくつ○をしてもかまいません）

- 1 中学校の授業を、小学校の先生にも教えてもらいたい
- 2 小学生に、勉強や運動などを教えてみたい
- 3 小学生と一緒に、学校行事や交流学习、交流給食などをやってみたい
- 4 部活動に小学校高学年を参加させ、一緒に練習してみたい

問 7 問 6 で○をしたこと以外に、「こんなことをやってみたい」と思うこ
とがあったら書いてください。

アンケートは以上になります。ありがとうございました。

これからの教育や学校についてのアンケート

今日の説明や意見交換を通して、次の質問の中で、自分の考えに近いものの番号に○をしてください。また、「その他」を選んだ人は、()の中に、自分の考えを書いてください。

*所属する学校と学年をお答えください。

	高校・大学	年生
--	-------	----

問 1 あなたは、小・中学校生活の中で、どんなことに挑戦したり、積極的に取り組みましたか。(複数回答可)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 苦手な勉強や運動などを、少しでもできるようにすること 2 得意な勉強や運動などを、さらにできるようにすること 3 疑問に思ったことを調べたり、考えたりしたことをまとめること 4 友達や他の生徒と協力して、学校行事や部活動などに取り組むこと 5 係や生徒会、委員会など、自分の役割や責任をしっかりと果たすこと 6 その他 () |
|--|

問 2 これから新しくできる学校に、どのようなことを望みますか。

(複数回答可)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 苦手な勉強や運動などが、少しでもできるようになること 2 得意な勉強や運動などが、さらにできるようになること 3 疑問や課題を本やタブレット PC などですぐに調べることができること 4 友達や他の子と協力して、学校行事や部活動などに取り組むこと 5 地域の人や様々な分野の専門家やプロの人などの方から学べること 6 困ったことや悩みごとがあったら、先生以外にもすぐに相談ができること 7 その他 () |
|--|

問 3 以下の活動のうち、自分が通う小・中学校にあったとしたら放課後に参加したかった活動はありますか？(複数回答可)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 その日の勉強の復習や次の日の予習をすること 2 学校の図書館で読書をしたり、本を借りたりすること 3 校庭で友達や他の学年の子と遊ぶこと 4 スポーツクラブや体験教室(料理、伝統芸能など)に挑戦すること 5 その他 () |
|---|

問 4 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を検討した結果として小・中学校を一つにして施設一体型義務教育学校が設置された場合に、どのような課題が考えられますか？（複数回答可）

- 1 義務教育 9 年間の人間関係が広がらないのではないか
- 2 小学校 6 年生のリーダー性が育たないのではないか
- 3 小学校の卒業・中学校への進学という節目がなくなるのではないか
- 4 体の大きさなどが違う小学校 1 年生から中学校 3 年生までが一つの施設で生活することは危険ではないか
- 5 その他（ ）

問 5 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を検討した結果として小・中学校を一つにして施設一体型義務教育学校が設置された場合に、どのようなことが実現できるとよいと思いますか？（複数回答可）

- 1 小・中学校の教員による相互乗り入れ授業
- 2 中学生による小学生への勉強や運動の指導
- 3 小学生と中学生が合同で行う学校行事や交流学习、交流給食
- 4 小学校高学年と中学生が合同で行う部活動
- 5 その他（ ）

問 6 これからの武蔵野市の学校や教育にどのような事を望みますか。

アンケートは以上です。ありがとうございました。

